

平成 28 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち												
施策No.	15	施策名	快適な道路機能の強化												
主管課名	建設課														
関係課名	都市計画課														
施策が目指す すべがた	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路が整備され、朝夕の交通渋滞が解消されています。 ・身近な生活道路が整備され、毎日の通勤、通学や買い物などが便利になっています。 ・道路の維持管理や除雪が適切に行われ、安全で円滑な交通が確保されています。 														
施策の成果向上 に向けての住民 と行政との役割 分担や地域等へ の期待など	市 ・ 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な道路のごみ拾いや除草などを行い、快適な道路環境づくりに努めます。 ・身近な道路の除雪などを行い、冬季間の円滑な道路交通確保に協力します。 													
	行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・市内幹線道路網の整備を計画し、事業の実施に努めます。 ・住民生活に密着し、緊急性・重要性の高い生活道路の整備に順次取り組みます。 ・きめ細かな維持・管理を行い、安全で快適な道路環境の確保に努めます。 													
	そ の 他 (地 域)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで道路の除草や側溝清掃などを行い、快適な道路環境づくりに努めます。 													
市民意識 調査結果	< 施策実感度調査結果 > ※26年度までは「満足度」 <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.000</td> <td>0.005</td> <td>0.038</td> <td>0.200</td> <td>0.330</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.000	0.005	0.038	0.200	0.330
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度										
0.000	0.005	0.038	0.200	0.330											
< 施策重要度調査結果 > <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.723</td> <td>0.805</td> <td>0.620</td> <td>1.022</td> <td>1.019</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.723	0.805	0.620	1.022	1.019	
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度											
0.723	0.805	0.620	1.022	1.019											
施策の トータルコスト	区 分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績							
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	21 (21)	27 (26)	24 (23)	30 (29)	31 (30)							
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)							
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	8 (8)	8 (8)	5 (5)	9 (9)	11 (11)							
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	7 (7)	13 (12)	13 (12)	15 (14)	14 (13)							
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—												
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	544,398	689,120	579,567	548,956	685,375							
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	163,587	105,104	32,648	47,787	70,304							
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	132,458	253,980	90,082	139,212	158,201							
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	248,353	330,036	456,837	361,957	456,870							
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—												
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	95	111	98	115	118								
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	26,880	29,700	27,320	28,480	27,980								
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	118,245	124,562	119,716	119,075	115,026								
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	662,643	813,682	699,283	668,031	800,401								
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	12,285	15,649	13,307	12,721	16,049							
	同 上 H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	2,668	2,829	2,749	2,759	2,693							
	同 上 I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	14,953	18,478	16,055	15,481	18,742							
	同 上	円	—	14,953	18,478	16,055	15,481	18,742							
参 考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194	4,382	4,181	4,111							
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706							

基本事業概要シート①

施策No.	15	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名①	幹線道路の整備		
基本事業①の目的(意図)	幹線道路が整備され渋滞が解消されるとともに、近隣市町に短時間で行き来できるようになっています。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【道路関係同盟会事務局事務】 ・富山県に対して、市内の未改良県道の整備促進について要望を行いました。</p> <p>【市道吉島10号線道路改良事業】 ・吉島10号線の用地補償、工事を行いました。</p> <p>【国道8号バイパス対策事業】 ・財務省及び国土交通省北陸地方整備局に対して、国道8号バイパスの事業促進について要望を行いました。</p>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
道路が整備され、安全で快適・便利になったと感じている市民の割合	%	46.5	49.9	46.2	51.6 45.8	52.5	53.3	54.2	55.0
市内の道路改良率(国・県・市道)	%	79.4	80.0	80.4	80.2 80.4	80.2	80.3	80.4	80.5

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	土木一般管理事業	5,027,000	4,551,488	475,512	-	建設課
2	予算なし	道路関係同盟会事務局事務	0	0	0	-	建設課
3	一般会計	○ 市道吉島10号線道路改良事業	65,400,743	65,400,743	0	A	建設課
4	一般会計	国道8号バイパス対策事業	409,000	351,528	57,472	-	建設課
5	予算なし	○ 市道大海寺新27号線道路改良事業	0	0	0	B	建設課
6	予算なし	◎ 都市計画道路見直し事務	0	0	0	B	都市計画課
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			70,836,743	70,303,759	532,984		

基本事業概要シート②

施策No.	15	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名②	生活道路の整備		
基本事業②の目的(意図)	身近な道路が整備され、毎日の生活が便利になっています。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	【市道改良舗装事業、各市道改良事業】 ・住民生活に密着した市道20路線の改良・舗装工事並びに5路線の調査・測量設計を実施しました。		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
市道の改良率	%	76.1	77.2	77.2	77.6 77.6	77.8	78.1	78.3	78.5
市道の舗装率	%	93.7	94.3	94.4	94.5 94.5	94.5	94.5	94.5	94.5

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	◎ 市道改良舗装事業	46,500,000	43,887,333	2,612,667	A	建設課
2	一般会計	○ 市道緑ヶ丘線道路改良事業	2,583,477	2,583,477	0	A	建設課
3	一般会計	○ 市道六郎丸32号線道路改良事業	30,141,086	30,141,086	0	A	建設課
4	一般会計	○ 市道六郎丸33号線道路改良事業	4,212,000	4,212,000	0	A	建設課
5	一般会計	○ 市道江口7号線道路改良事業	4,644,000	4,644,000	0	A	建設課
6	一般会計	○ 市道岡経田立石線道路改良事業	5,255,280	5,255,280	0	A	建設課
7	予算なし	○ 市道東又線道路改良事業	0	0	0	B	建設課
8	一般会計	○ 市道川原吉野線道路改良事業	47,708,003	47,708,003	0	A	建設課
9	一般会計	○ 市道吉島18号線道路改良事業	11,010,070	11,010,070	0	A	建設課
10	一般会計	○ 市道住吉7号線他道路改良事業	8,269,560	8,269,560	0	B	建設課
11	一般会計	○ 市道仏田3号線道路改良事業	489,704	489,704	0	A	建設課
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			160,813,180	158,200,513	2,612,667		

基本事業概要シート③

施策No.	15	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名③	道路維持管理体制の強化		
基本事業③の目的(意図)	充実した道路の維持・管理や除雪体制によって、安全で円滑な交通が確保されています。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【市道維持補修事業】 ・地元住民などから苦情・要望のあった道路損傷箇所の維持補修を行いました。</p> <p>【土木災害応急措置事業】 ・既存消雪施設のシーズン前の点検・補修を行いました。 ・除雪機械の確保が困難となった民間の除雪作業受託業者へリース車両を貸与し、除雪体制の確保を図りました。</p> <p>【道路法に関する事務】 ・交通規制を伴う道路工事や占用工事の通行制限情報を市ホームページで広報しました。</p> <p>【街路灯更新事業】 ・老朽化が進む街路灯の総点検結果に基づき、危険性、緊急性の高い箇所から順次、更新・補修を行いました。</p> <p>【橋梁点検事業】 ・52橋(全240橋)の目視点検等を実施しました。</p> <p>【消雪施設更新事業】 ・老朽化が進む消雪施設更新のための工事を行いました。</p>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
苦情・要望のあった道路補修の実施率	%	80.3	96.3	91.2	85.0 99.2	85.0	85.0	85.0	85.0
市内の道路除雪延長(国・県・市道)	km	380.3	392.1	397.2	407.4 402.0	415.1	422.8	430.4	438.1

基本事業③を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成28年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	予算なし	臨時運行許可事務	0	0	0	-	市民課
2	一般会計	◎ 市道維持補修事業	41,595,000	40,147,852	1,447,148	A	建設課
3	一般会計	道路維持一般管理事業	15,869,000	14,652,012	1,216,988	-	建設課
4	一般会計	○ 土木災害応急措置事業	206,445,000	203,346,325	3,098,675	B	建設課
5	一般会計	道路台帳整備事業	14,261,000	0	14,261,000	-	建設課
6	予算なし	市道認定事務	0	0	0	-	建設課
7	予算なし	道路法に関する事務	0	0	0	-	建設課
8	一般会計	○ 市道魚津駅友道線他舗装修繕事業	41,241,960	41,241,960	0	A	建設課
9	一般会計	市道等用地借上事業	405,000	398,433	6,567	-	建設課
10	一般会計	○ 街路灯更新事業	6,804,000	6,804,000	0	A	建設課
11	一般会計	○ 橋梁点検事業	9,450,000	9,450,000	0	A	建設課
12	一般会計	○ 災害防除事業	75,625,920	75,625,920	0	A	建設課
13	一般会計	○ 消雪施設更新事業	37,106,640	37,106,640	0	A	建設課
14	一般会計	○ 全国植樹祭関係道路整備事業	30,700,000	28,096,748	2,603,252	A	建設課
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			479,503,520	456,869,890	22,633,630		

施策評価結果シート

施策No.	15	施策名	快適な道路機能の強化
-------	----	-----	------------

平成28年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)

<p>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)</p> <p>【①幹線道路の整備】 ◆市民の道路に対する満足度は、平成27年度46.2%に対し平成28年度45.8%と0.4ポイント減少しています。市民は、通勤通学時の慢性的な渋滞の解消と、通学路の安全対策を望んでいます。 ◆市内の公道(国、県、市道)の道路改良率及び市道の改良・舗装率の平成28年度実績値は、微増しています。</p> <p>【②生活道路の整備】 ◆平成28年4月1日付け「道路現況調査資料(富山県)」の公道(国、県、市道)の魚津市と県内市計を比較すると、改良率は僅かに高いものの道路幅員が狭い道路の割合がやや多く、また、舗装率もやや高いものの簡易なものが多い状況が伺えます。</p> <p>【③道路維持管理体制の強化】 ◆苦情・要望のあった道路補修の実施率は、目標値(毎年85%)を達成しました。老朽化の進行により、要望は増加するものと思われます。 ◆市内の公道(国、県、市道)の道路除雪延長は、平成27年度397.2kmに対し平成28年度402.0kmと4.8km増加しています。市民からは、よりきめ細かな作業実施の要望が多数寄せられています。</p>
<p>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成28年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)</p> <p>【①幹線道路の整備】 ＜道路関係同盟会事務局事務＞ ◆幹線道路整備について、県へ事業促進の要望を行いました。 ＜市道吉島10号線道路改良事業＞ ◆吉島10号線の事業用地確保のため、用地3件、物件補償契約5件を締結するとともに、拡幅工事を進めました。</p> <p>【②生活道路の整備】 ＜市道改良舗装事業、各市道改良事業＞ ◆住民生活に密着した市道20路線の改良・舗装工事並びに新規着工5路線の調査・測量設計を実施し、利便性の向上と、円滑な交通の確保に努めました。</p> <p>【③道路維持管理体制の強化】 ＜市道維持補修事業＞ ◆苦情・要望のあった市道の維持補修について速やかな対応に努め、安全な道路交通の確保に努めました。 ＜土木災害応急措置事業＞ ◆市では、除雪機械と除雪作業受託業者を確保しつつ、約253kmの道路除雪を行い、冬季間の円滑な交通の確保に努めました。 ＜街路灯更新事業＞ ◆老朽化が進む街路灯の総点検結果に基づき、危険性、緊急性の高い街路灯等について順次、更新・補修を行いました。 ＜橋梁点検事業＞ ◆52橋(全240橋)の目視点検等を実施し、橋梁に異常がないか確認しました。 ＜消雪施設更新事業＞ ◆老朽化が進む消雪施設更新工事を計画的に実施し、冬季間の円滑な交通の確保に努めました。</p>
<p>3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)</p> <p>【①幹線道路の整備】 ◆国道8号入善黒部バイパスの4車線化工事について国土交通省へ要望します。 ◆県道は、宇奈月大沢野線外3路線で道路改良事業が計画されており、これら路線の事業促進について富山県へ要望します。 ◆市道吉島10号線などの補助幹線道路について整備を進めます。</p> <p>【②生活道路の整備】 ◆住民生活に密着した市道の改良、舗装工事等を計画的に進めます。 ◆通学時の安全対策として、小学校周辺において通学路の整備を行います。</p> <p>【③道路維持管理体制の強化】 ◆市道の維持補修の速やかな対応を引き続き行うとともに、除雪機械と除雪作業受託業者の実態把握や富山県との連携除雪作業等の協議を進め、今冬の除雪体制確保に努めます。 ◆凍結防止剤散布体制をより強化するため、市独自の車庫(倉庫)を建設します。 ◆道路付属物等点検事業などの道路施設の総点検の結果、危険性、緊急性が高いとされた路面、照明灯等については、引き続き更新・補修を進めます。 ◆橋梁点検を行い、適切な管理を行います。(5年サイクル) ◆老朽化している消雪施設の更新を行います。</p>

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆道路の利便性の向上と、円滑な交通確保のため、事業促進について引き続き国、県へ要望して行くこと。 ◆通学路整備については、状況を見極めながら進めること。 ◆除雪路線延長は、年々増加しており、除雪機械や委託業者の確保など体制整備に努めること。
<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆除雪機械や除雪作業受託業者の確保を図るとともに、融雪施設の更新を行います。 ◆道路改良事業(吉島、江口等)を進めるとともに、市道全体の現場状況に応じた適切な維持管理を行うための公民連携の取組みを実施します。 ◆統合小学校周辺の通学路整備を推進し、通学環境の安全確保に努めます。